

2006年度 卒業論文題目一覧

- 浅野 遥香 ドイツにおける難民と戦争被害者としての子供
- 阿路川 ひとみ ドイツ語における標準語の形成について
- 阿由葉 沙紀 企業は環境を救うことができるのか？
— ドイツ・日本自動車産業の環境マネジメント比較から —
- 五十嵐 絵里 グリム童話・文法書にみる二人称の使われ方
- 泉川 奈美 ヨーロッパにおける馬の文化史
— 神話に登場する神獣の誕生 —
- 五十棲 玲奈 エーリヒ・ケストナーと『飛ぶ教室』
- 伊東 佐恵 ドイツトルコ人2世3世のアイデンティティー
— 主導文化論争の導くドイツトルコ —
- 井場 世子 マイセン磁器の誕生
— 柿右衛門がマイセン磁器に与えたもの —
- 植田 恵理奈 ルターの宗教改革がドイツ語に与えた影響
— 鎌倉仏教と比較 —
- 内村 亜由美 ペストから見る中世ヨーロッパ
- 大島 麗子 ドイツの吸血鬼について
- 太田 晴人 ミヒャエル・エンデ「鏡」と「扉」について
- 太田 優 日独の戦争責任、戦後補償の相違
- 大塚 由貴 マンガにおける命令形
— マンガ『クレヨンしんちゃん』から —
- 大西 優子 イメージとしての観光旅行
— 優越なる者の視線 —
- 岡崎 裕也 ナチス・ドイツ時代のスポーツ政策
— サッカーと日常生活 —
- 尾崎 萌 ドイツにおける動物保護精神
— 法律を通して —

- 小 田 真規子 ドイツビール文化に魅せられた日本
- 川 合 秀 和 ゲーテ詩によるシューベルト歌曲の研究
- 久 保 裕 亮 村上春樹とドイツ
- 黒 川 奈 美 ドイツ人俘虜によるドイツ菓子の伝来
— 日本のドイツ文化の受け入れ —
- 小 島 綾 子 ゲーテ『ファウスト』における悪魔メフィストについて
- 澤 井 美 美 ドイツ・日本の出生率低下における課題
— フランスの家族政策を指標にして —
- 高 井 佑 子 ミヒヤエル・エンデと「モモ」
- 高 畑 恵美子 クリスマスを飾る木
— クリスマスツリー —
- 高 谷 桃 子 Spracharbeit im 17. Jahrhundert
— Behandlung fremder Wörter —
- 竹 内 梓 ドイツの中世都市と街道
— トリアー・ローテンブルク・ロマンティック街
道 —
- 柘 植 さやか ドイツ語のコミックにおける言語的特徴について
— ドラゴンボールを資料として —
- 鶴 澤 智 子 「環境因子」にみる日本とドイツの障害児教育
- 中 坊 亜希子 スイスドイツ語はなぜドイツ語の方言に留まる？
- 中 村 晃 基 ドイツ鉄道
- 中 森 脩 恵 語源から見る同音同形異義性と多義性の区別
- 永 田 隆 一 ナチス人種主義におけるフォルク
- 西 澤 香 織 ルートヴィヒ2世とノイシュヴァンシュタイン城
- 野 中 梨栄子 ニュルンベルクの甘い賜物、レープクーヘン
Lebkuchen
- 濱 由 依 ドイツの病院における医師と患者のコミュニケーション
— 権力的不均衡により生じる問題 —
- 松 岡 遥 奈 魔女狩り
— その実態と時代背景 —
- 丸 山 恵里香 シュタイナー教育における音楽の力
— シュタイナーの音楽理論から見たライヤーとペ

- ンタトニックー
- 水 谷 枝里子 接続法の分類
 — DUDENにそって —
- 宗 時 ゆかり ドイツの妖精
 — グリム童話の場合 —
- 山 内 巧 ことわざ・慣用表現からみる
 — 日独イメージの違い —
- 分 部 恵 里 マーク・トウェインのドイツ語批判を批判する
- 井 関 安 以 メランコリーの文化史
- 小 林 正 典 ブンデスリーガ
 — ドイツにおけるサッカーの社会的意味 —
- 中 川 寿 美 ガーゴイルから見る悪魔表現
 — 西洋と東洋の悪の想定 —
- 宮 地 香 恵 環境対策
 — 日本とドイツを比較して —
- 東 亨 デーミアンにおける深層心理
- 谷野宮 由 佳 つぐみの髭の王様